

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	市民協働推進課	
施策	9	地域コミュニティの維持・活性化	評価 責任者	佐藤 篤	内線 2110
小施策	9-1	コミュニティ活動の支援	評価 シート 作成者	山内 真澄	内線 2111

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
町内会・自治会においては地域の安全・安心を守る活動や住民同士の親睦を深める活動が自主的に行われており、また市の施策に対しても理解と協力をいただきながら、連携してまちづくりを進めている。 また、市内全30のコミュニティ推進地区組織(地域の連帯を深めるため、市は町内会・自治会や学区などを考慮して区域を定めており、現在は市内を30地区に分けたコミュニティ推進地区組織が結成されている。)においては、地域の課題に対応した様々な取組を行っていただいております。そのうち12の地区においては、地域の課題解決・将来像の実現のため、地域づくり計画を策定していただき、地区にあるさまざまな主体と一緒に、市の補助金を受けて様々な事業を行う地域協働(町内会・自治会、NPO、企業といった地域にあるさまざまな主体で構成される地域づくり組織と市が、相互に連携・役割分担してまちづくりを進める取組をいう。)によるまちづくりに取り組んでいただいております。 しかし、少子高齢化の進行により活動の担い手が不足している、活動への参加者が少ないといった、地縁団体(町内会・自治会及びコミュニティ推進地区組織などの地域組織をいう。)の持続的な活動に対する不安が生じてきており、これらの課題を市と地域が一緒になって解決する必要がある。	町内会・自治会が、住みよいまちづくりのための活動を将来にわたって持続的に展開できるよう、町内会・自治会の役員の事務負担軽減に向けた取組や、市と地域とのパイプ役を担う体制の整備などの支援策を進めていく。コミュニティ推進地区組織においては、地域の特性に合わせた主体的な活動や地域協働による取組の更なる促進を図る。 また、さまざまな団体等と市が、連携・協力しながらまちづくり活動を行う「市民協働」を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
町内会・自治会 コミュニティ推進地区組織	団体が持続的な活動展開を行っていくための支援をする。 その活動を市民全体に周知するとともに、活動のリーダーを養成する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価		今後の方向性(平成30年度以降)
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	評価を踏まえた取組の方向性	
指標① 町内会・自治会への協働推進奨励金支給率	%	↗	当初値(H28) 98.7 H31目標値 100.0 H36目標値 100.0	<ul style="list-style-type: none"> ・制度実施2年目を迎え、制度に対する理解が進んだ。 ・各種補助事業の一本化及び簡素化による町内会の事務負担軽減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別町内会への資料作成の補助を行う等、町内会の負担軽減を行いながら、制度に対する理解が進むよう取り組んだ。 	<p>★ 町内会活動に消極的な団体への制度周知に努めた上で、各町内会ごとの活動の助言等を行い、活性化を図る。</p> <p>★ H28年度の制度実施から3年経過するにあたり、制度内容の検証を行う。</p> <p>☆1 盛岡市町内会・自治会協働推進計画の見直しに併せて、制度内容の見直しの検討を行う。</p>
<p>※平成28年度に新しく設定した指標</p>				<p>・381町内会のうち、5町内会が申請書類未提出である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化及び世帯数の減少により、町内会活動を行うことができない。 ・商店を中心とした地域において、居住世帯数が少なく、町内会活動が存在しない。 	
指標② コミュニティリーダー研修会、人材養成講座への参加人数	人	↗	当初値(H25) 201 H31目標値 220 H36目標値 250	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会、人材養成講座ともに、講義や事例発表の内容については、参加者によるアンケートにおいては好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■リーダー研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸被災地の災害公営住宅において、いちから町内会・自治会を立ち上げて行くという活動、そこから得られた様々な教訓が盛り込まれた、内容豊かな講演であった。 ・地域協働事業における活動、特選コミュニティ団体に選定された町内会の活動とも、参考になる内容を多々含んでいた。 ■人材養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・実際に地域づくり・町おこしに特徴的な活動をしている方の講義、地域協働事業における事業実施上の留意点等、ニーズを絞った講座運営が的を射たものだった。 	<p>★ 今後とも、地域活動に参加している市民のニーズを的確に捉えた内容の講義、講座実施を心がけるとともに、事業の実施時期、会場設定、周知方法など、様々な要素をあらためて検証し、より多くの参加者を集める事業の実施に努める。</p>
				<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティリーダー研修会において、近年では例を見ない参加人数の減となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施時期、会場設定、周知方法など、様々な要素をあらためて検証し、より適正な日程での開催に努めることとする。 	